

第27回 『松崎町のうた』について

昨年12月15日に行われた「松崎町のうたコンサート」は、町内外から約600人の方が集まり、熱気あふれるコンサートを拝見した後の感動は、今でも忘れることはできません。子どもからお年寄りまで世代を超えた多くの方がそこに参加し、松崎町の皆さんがまさにワンチームになってつくりあげた素晴らしいコンサートでありました。

「松崎町のうた」づくりは、平成29年に文化庁の委託を受けた常葉大学から、FULL-SATOプロジェクトとして、松崎町で文化活動ができないかとの打診があり、ぜひ一緒にやりましょうと快諾しました。その後、ソプラノ歌手の曾根妙子さんや、作曲家の相澤洋正さんとともに始めたものでした。

そして、この活動が大きく前進する契機となったのは、石田会長をはじめ、この趣旨に賛同し町民有志でつくられた「松崎町のうたを育てる会」でした。町と大学だけでは、ここまでの広がりを持つてなかつたことでしょう。「松崎町のうたを育てる会」の皆さんは、松崎町のうたの歌詞を町民と一緒に作り上げるため、学校に出向いたり、地区の公民館へ行ってコンサートを開催したりと、「松崎町のうた」づくりの普及に努めていただきました。冒頭の町民コンサートは、これらの積み重ねの上、結実したものであったのです。

松崎町のうたづくりは、これで終わりではありません。松崎町のうたが、町民皆さんの歌として根付き、未来へつながっていくことを願っています。そして、松崎町のうたで発揮されたワンチームの精神を、町づくりにおいても活かしていきたいと思っております。